

チームえちゴン（柏崎市）

柏崎の山・海・里のお宝ランチ

【献立】

ごはん、海の幸「鮭の彩りがんも」、
里の恵み「糸うりの黄金サラダ」、
山の贈り物「ぜんまいと旬野菜の煮しめ」、牛乳



【献立のねらい】

柏崎市は海と山に囲まれた地形で、その豊かな自然環境に恵まれ、支えられてきました。昔から作物の栽培も盛んで、柏崎に伝わる民謡『三階節』でも、「春日白瓜、橋場まくわ」など地場産物とその産地が唄の歌詞にも登場しています。

今回の献立では、柏崎の山・海・里で採れる食材を「宝」として、献立に取り入れました。また、柏崎の日本海に沈む夕日、黄金に輝く棚田、凛々しくそびえたつ米山など、心打つ美しい情景を料理で表現することで、柏崎で育つ子どもたちがより一層、郷土への愛着が高まるよう考えました。

柏崎市では毎月、市内の小中学校と保育園が連携し、保小中合同献立「えちゴンのふるさとぱくもぐランチ」を行っています。この取り組みでは、地場産物を多く取り入れた献立や地域に伝わる郷土料理を提供しています。給食を通じて、地域でとれる産物や郷土の食文化に触れることで、生まれ育った地域への関心や郷土への愛着が高まることを願っています。

